

ながおかワーク & ライフセミナー

第1講座開催報告

《こどもかいぎ》上映と能登半島被災地支援報告

このセミナーは、連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会の実現をめざし、毎年長岡地区労働者福祉協議会＝長岡地区労福協が主催し、今年は7講座開催する予定です。



第1講座は、「長岡こども・地域食堂ネットワーク」が企画開催しました。セミナーはネットワークの長谷川さんの司会進行で、主催者を代表して矢島長岡地区労福協会長から「長岡地区労福協は、地域の中で、わたしたちがどうつながりを得ていくか。生活者の目線でつながりを持つていくために、セミナーを行っている。今年は7講座を計画している。今日も楽しみに。」と挨拶がありました。

最初に、こどもたちが対話をする中で、こどもたちの多様な力が伸びていくと考えられて作成した映画《こどもかいぎ》を上映しました。この映画は、豪田トモさんが企画、監督した映画で、保育園に通う子供たちが「こどもかいぎ」を開き、保育士が提供する課題について自由な話し合いを行っている様子など上映したものです。



こどもたちの奇想天外な発想とまっすぐな言葉に思わず笑い、ハットさせられます。こどもたちは、親から離れ、初めての保育所経験です。小さなこどもたちが、《こどもかいぎ》を通して、会話する大切さ、対話を通してコミュニティー力の原点を気づかせてくれた映画でした。

私たち大人は対話することを忘れていないか。大人はきちんと対話をしているのか。《こどもかいぎ》をとおして気づいたことでした。

次に長岡こども・地域食堂ネットワーク佐竹代表から「出張こども食堂 in 輪島＝能登半島被災地支援報告会」を開催

長岡こども・地域食堂ネットワークは、長岡市内で活動している23か所のこども食堂で活動している仲間の緩やかなネットワークです。

能登半島地震で大きな被害があった輪島市に出向き、輪島で行っていた方々も一緒に、こども食堂 in 輪島を開いて、「心の復興」を支援・交流しています。

「2回目の支援活動も準備していたが、水害による被害で実現していない。一緒に交流を希望する人は連絡してほしい。カンパも募集しているので協力をお願いしたい。」と現地の状況写真やこども食堂の様子など丁寧に報告されました。

最後に長岡地区労協協縁見副会長から「私にもこどもがいる。こどもとのコミュニケーションはできるだけ行っているが、なぜ大人になるとできないのか？

改めて考えさせられた映画でした」と閉会の挨拶があり終了しました。なお、カンパ金額は、17,800円でした。ご協力あ



ながおかワーク&ライフセミナー

対話の本質ってなんですか? 意味を子どもたちが教えてくれる
2024年11月2日 (土) 10:00~12:10 参加費無料
会場 長岡市立中央図書館 講堂 定員100人 (先着順)

能登半島被災地支援『出張子ども食堂in輪島』の活動報告も行います。